

＜飲酒運転の撲滅について＞

【調査の目的】

福岡県では、深刻な状況にある飲酒運転の撲滅を推進し、飲酒運転のない、県民が安心して暮らせる社会を実現するために、全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」（以下、「飲酒運転撲滅条例」という。）が平成24年9月に全面施行され、その後、状況に応じて改正がなされています。県では、本条例に基づき、飲酒運転撲滅に係る様々な取組を実施しているところですが、今後の効果的な取組を推進する上での参考とするため、条例の周知状況等について、県民の皆様の御意見をお聴かせいただくものです。

【活用状況】

- ・飲酒運転撲滅条例の内容を始め、県で行っている飲酒運転撲滅対策に係る事業を広く県民に周知するための参考資料として活用
- ・来年度以降の飲酒運転撲滅キャンペーンの効果的な実施に向けた検討資料として活用
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用

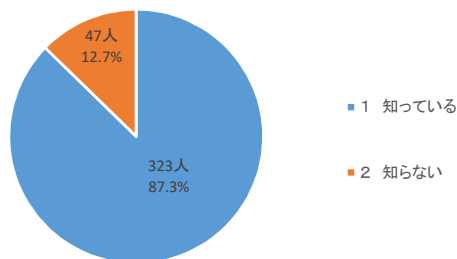
（人づくり・県民生活部生活安全課）

問1 あなたは、福岡県の飲酒運転事故件数が全国の中でもワーストレベルであることを知っていますか（参考：令和5年は全国ワースト7位）。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

（n=370 選択は1つのみ）

1 知っている	87.3%	(323人)
2 知らない	12.7%	(47人)



問2 福岡県では、飲酒運転撲滅対策の強化と県民の意識改革を推進するため、飲酒運転撲滅スローガン（「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」）のもと、飲酒運転を見かけたときの110番通報の義務などを飲酒運転撲滅条例に規定しています。

あなたは、県民に、飲酒運転を見かけたときの110番通報の義務があることを知っていますか。

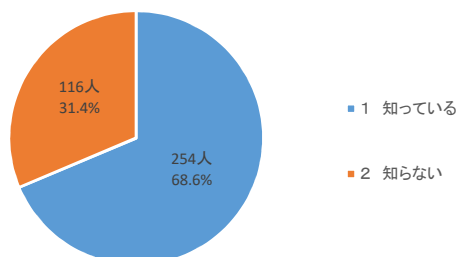
次の中から【1つだけ】選んでください。

※詳細については、県ホームページを御参照ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/inshujoureikaisei2020.html>

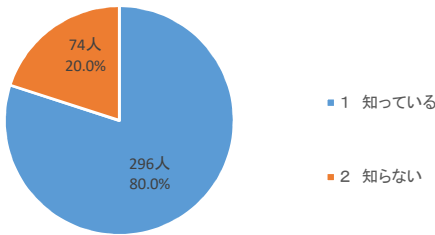
（n=370 選択は1つのみ）

1 知っている	68.6%	(254人)
2 知らない	31.4%	(116人)



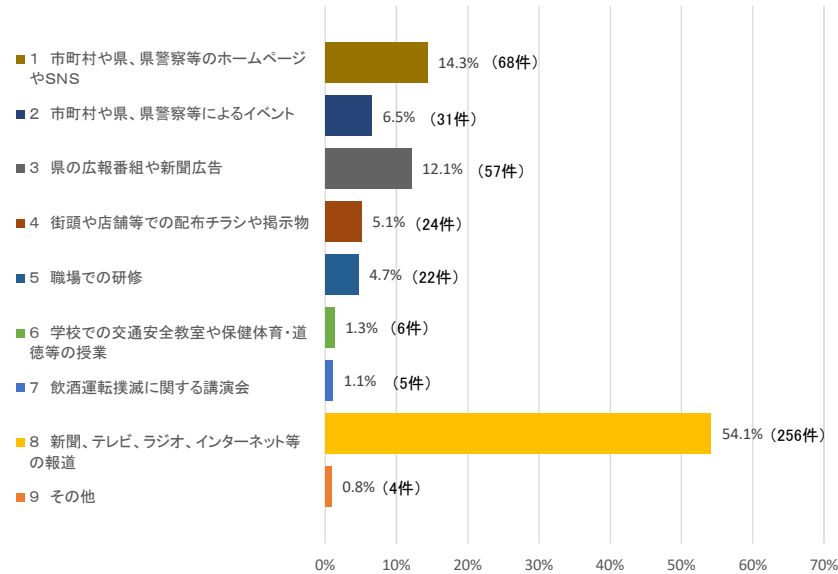
問3 令和6年11月1日に道路交通法の改正により、自転車の「運転中のながらスマホ」「酒気帯び運転」に新しく罰則が整備されました。
それに伴い、飲酒運転撲滅条例も改正され、同日に施行されました。
【改正後の取り扱い】
○ 自動車や原動機付自転車と同様、自転車の酒気帯び運転をして、
・検挙の基準値(※)を上回り検挙された者は「違反者」
・検挙の基準値(※)に満たず警告を受けた者は「準違反者」
として取り扱われ、アルコール依存症に関する診察や飲酒行動に関する指導を受ける義務等の対象になりました。
(※)呼気中アルコール濃度が0.15mg/l
あなたは、このように条例が改正され、自転車の酒気帯び運転の取り扱いが変わったことを知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。
※上記改正の詳細については、県ホームページを御参照ください。
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/inshujoureikaisei2024.html>

(n=370 選択は1つのみ)		
1 知っている	80.0%	(296人)
2 知らない	20.0%	(74人)



問3ー2 (問3で「1」を選択された方にお尋ねします。)
あなたが、飲酒運転撲滅条例が改正されたことを知ったきっかけは何ですか。
次の中から該当するものを【すべて】選んでください。

(回答者数296人、回答件数473件、複数選択可)		
1 市町村や県、県警察等のホームページやSNS	14.3%	(68件)
2 市町村や県、県警察等によるイベント	6.5%	(31件)
3 県の広報番組や新聞広告	12.1%	(57件)
4 街頭や店舗等での配布チラシや掲示物	5.1%	(24件)
5 職場での研修	4.7%	(22件)
6 学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業	1.3%	(6件)
7 飲酒運転撲滅に関する講演会	1.1%	(5件)
8 新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道	54.1%	(256件)
9 その他	0.8%	(4件)



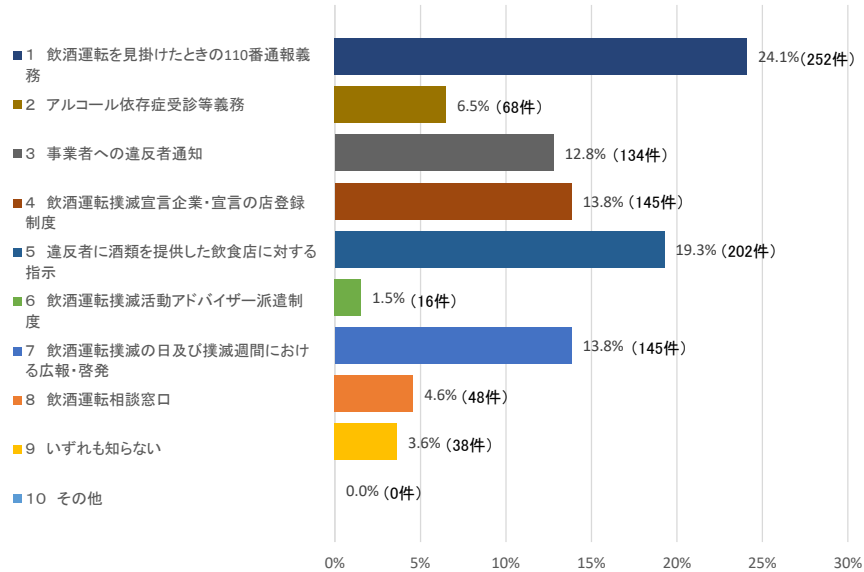
問3ー3 問3ー2で「9」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。
(n=4)

友人との会話で知った
運転免許の更新講習
息子2名が警察官で息子より聞いている
家族からの話

問4 飲酒運転撲滅条例に基づいて、福岡県では飲酒運転撲滅に向けた様々な施策を実施しています。
次の中から知っているものを【すべて】選んでください。

(回答者数370人、回答件数1048件、複数選択可)

1 飲酒運転を見掛けたときの110番通報義務	24.1%	(252件)
2 アルコール依存症受診等義務	6.5%	(68件)
3 事業者への違反者通知	12.8%	(134件)
4 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店登録制度	13.8%	(145件)
5 違反者に酒類を提供した飲食店に対する指示	19.3%	(202件)
6 飲酒運転撲滅活動アドバイザー派遣制度	1.5%	(16件)
7 飲酒運転撲滅の日及び撲滅週間における広報・啓発	13.8%	(145件)
8 飲酒運転相談窓口	4.6%	(48件)
9 いずれも知らない	3.6%	(38件)
10 その他	0.0%	(0件)

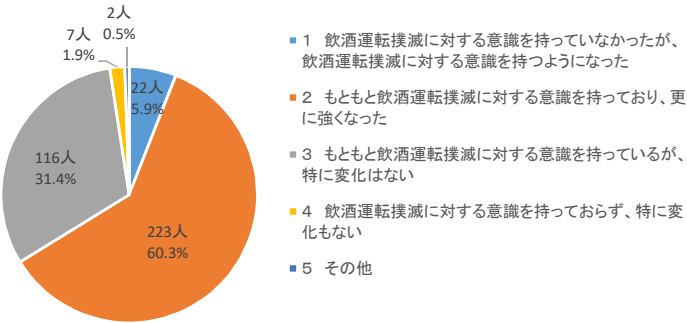


問4ー2 問4で「10」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。
(n=0)

問5 近年における飲酒運転撲滅運動等をきっかけとして、御自身や周囲の方々の飲酒運転撲滅に対する意識に何らかの変化がありましたか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=370 選択は1つのみ)

1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった	5.9%	(22人)
2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っており、更に強くなった	60.3%	(223人)
3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない	31.4%	(116人)
4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない	1.9%	(7人)
5 その他	0.5%	(2人)



問5-2（問5で「1」を選択した方にお尋ねします。）
飲酒運転撲滅に対する意識にどのような変化があったかを差し支えない範囲で具体的に
入力してください。

（ n=22 ）

一部抜粋
罰則が厳しくなったことや飲酒運転はやめようという民意が成立していることを肌身で感じるようになってきた。
飲み会の場で必ず運転手の存在の確認をしています。 どうやって来るのか、どうやって帰るのか、の確認をするようになりました。
身内に、飲みに行くときは迎えを呼ぶか代行で帰ってくるように自然と声掛けするようになった
事故の怖さ、人命の大切さをあらためて考えた。

問5-3 問5で「5」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

（ n=2 ）

周囲が未成年がほとんどのため、飲酒に関する考えがない。
車も免許も持っていないので、飲酒運転する可能性が0である

問6 飲酒運転の撲滅について、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。
（例：飲酒運転の撲滅のために必要だと思われること 等）

（ n=160 ）

一部抜粋
私は当時子供でしたが海の中道での事故があったのはかなりメディアもニュースにしており、そこから飲酒運転に対しての取り締まりが強くなったと感じております。呑んだら乗らないのは当たり前の認識なのでそれが全世代になるといいなと思います。
18年前の中道大橋での痛ましい事故の時、飲酒運転はいけないと強く思いました。その後も飲酒運転による死亡事故が相次ぎ福岡県が全国ワースト1位と報道されるにつけ福岡県民として悲しく怒りを覚えました 飲酒運転は絶対ダメという意識を県民一人ひとりが持たなくてはけませんね 家族、周囲の人に伝えて行きたいと思います
会社でアルコールチェックをしている。 そのおかげで、仕事以外でも、飲酒に対する危機意識が身に付いていると思う
「飲んだら乗るな」という認識はあっても「アルコールが抜けたと思った」という理由で飲酒運転して事故を起こすニュースを目にする機会が多く感じます。実際に飲酒後のアルコールが抜けた状態がどのような状態なのか(体調やアルコールが消化された状態など)を認識する必要があると思います。
福岡は飲酒、呑みにケーションを良しとする風潮が強く飲酒運転が多いイメージだったが、県や市や警察が撲滅運動を熱心にやっているのは感じる。 飲ませた店まで罰則や自転車にも罰則を広げたのはすごく効果があると思う。 見掛けた時の通報義務は知らなかったし、ちょっと躊躇するが抑止力が増すから通報義務の意識を改めて持ちました
自分はお酒を飲まないでお酒を飲む人のハンドルキーパーをやってます。友人や家族がやってたら止めることを行っていきたい
飲酒運転をしないことが当たり前だと思っているため、飲酒運転をする人の思考が全く理解出来ません。当たり前だと思っていることに対して撲滅運動と言われても、実際に加害者や被害者になってからでは遅いことは分かっていますが、ピンと来ない人は多いように思います。
福岡であんな悲惨な事故が起きて飲酒運転の罰則が重くなったにも関わらず未だ飲酒運転する人がいるという事実…理解に苦しみます。
福岡県での飲酒運転問題に関しては、2006年に起きた海の中道大橋飲酒運転事故が、県民の意識が高まるきっかけとなったと考えております。実際に免許更新の教習時や会社の飲酒運転に関する講習会の際にも、この事件のことを改めて目にする機会も多いです。なかなか衝撃的な内容ですし、自身の意識改革にも寄与していると感じます。 時の経過とともに人々の意識も薄まったり、事故のことをリアルタイムで知らない世代も増えています。年に1、2回でも飲酒運転事故の悲惨さを改めて知る機会があると、人々の意識も変わると思います。

運転する「人」の問題は、いろいろな撲滅運動が進展していますが、人の弱さを撲滅することは結構難しいのかな、と感じています。 これからの活動としては、運転する「車」の問題をよりクローズアップして改善に取り組むことが大事であると感じています。
一般のアルコール依存症に対する意識が低い事を痛感します。現在認知症に対する子供への教育は〇〇市で進んでいましたが、アルコールに対する子供への教育が必要と思います。
テレビ等で飲酒運転で逮捕されたことは放送されるが、その後、その人はどのような罰を受けたのか、放送されることはないの、逮捕されて、罰金程度で済んでいるのかと思っている人が多いと思う。それだったら、飲酒運転は無くなる。刑務所に入ったとか、職場を懲戒免職になったとか人生がくるってしまったことをテレビやポスターで県民に知らせないと飲酒運転は無くなる。飲酒運転を甘く見ている県民性が変わらないと思う。
飲酒後のアルコール分解によく使用される「単位」については、実感と乖離しているとの声が周囲でも多い。特に飲酒量の多い人からすれば、どれだけ時間がたってもアルコールが分解されないこととなり、現実的な指標ではないのでは？と考えている人が多い。そのような声も踏まえて、皆が納得できるような指標の細分化等を実施したほうが実効的な数値となり、守る人も増えるのではないかな。
飲酒運転=自動車に限ったイメージが強く、原付や自転車、そして電動キックボードなどは見逃されがちだなと思いました。 今回、飲酒運転撲滅条例に基づく様々な施策のうち「飲酒運転を見掛けたときの110番通報義務」は具体的にどういうふうにしたら良いのか分からず、通報に至らなかったことが度々あります。 同伴者であればともかく、単純に道端で偶然に居合わせた他人だと、どう対処するのが正解か分かりませんでした。酔った人間相手なら尚更、もし変に目があって激昂されたりしても怖いです。 たとえば福岡市の公式LINEのようなシステムがあるといいと思います。(道路や電柱の不具合を発見したときに、かんたんに報告できるフォームがある。)
飲酒運転の撲滅には、個々の自覚が大切です。学校や職場などで飲酒運転の撲滅のための講演をもっと増やしていくべきと思う。
TVを見ない人や情報が得られない人は周知があまりされていないのかもしれない。 田舎では特にそう感じる。 会社、地域行政等のあらゆる所で周知される必要があるのではないかなと思う。
専門家によるアドバイスも大事だが、実際に飲酒運転をした人がどのような結果になったのか等の話が免許更新時などに聞ける機会があれば良いと思います。
中々なくならない飲酒運転。車本体に運転者の呼気にアルコール反応が出たら、エンジンがかからないようにできるシステムなどが必要なのではと思うようになりました。 情けないけど、個人の努力だけでは限界があるのかなあとまで思ってしまう。
飲酒運転は犯罪であることは十分に理解され浸透していると思っているが、未だに一部の人間による飲酒運転が後を絶たない。更なる罰則の強化と取り締まりの徹底を望む。
交通事故を引き起こすと、相手の人生と自分の人生がどんなに悲惨なものになるかを繰り返し繰り返し啓蒙して欲しい。
これだけ飲酒運転に関する報道や悲しいニュースが起こるにも関わらず、違反者が減らないということは、やはり飲酒への依存傾向がある人が世の中にたくさんいるという事実を認めざるを得ないと思う。違反者への罰則を厳しくしていくことや予防するために様々な工夫をしてあることも認めるが、アルコール依存症という病気を考えるなら、これ以上、命を無くすことがないよう、自動車自体にアルコールを検知したらエンジンがかからない、車に乗れないなどのハード面での義務付けを早急に行うことがもう必要なのではないかなと思う。車に標準装備にして欲しい。 人間の心の甘さは、残念ながら認めざるをえないと思う。 また、何よりもアルコール依存症にならないためにも、全ての人が住みやすい世の中になるよう考えるべきだと思う。
飲酒運転の厳罰化はもちろんですが、そもそも飲酒運転させない仕組みづくりが必要だと感じます。福岡県として取り組める規模は超えています。自動車自体に運転手の呼気アルコール検出装置など物理的な制限ができるように業界団体への働きかけ、法律の制定を進める必要があると思います。
メディアでもっと大々的にしよっちゅうアピールするべき飲酒の恐ろしさを伝えるべきだと思う
これだけ飲酒運転撲滅の啓もう活動を行っているのに、いっこうに飲酒運転が減らないのは非常に残念でならない。事故を起こす人たちに活動が届いていないのかもしれないが、地道な活動を続けてその周りや家族を巻き込んで訴え続けるしかないのかなと思う。
行政が、これだけ色々な角度から、飲酒運転の禁止を目指した色々な対策を実施しているにもかかわらず、飲酒運転がなくなることに、愕然としています。飲酒運転をした人で、常習的な違反者には、さらに重い過料や氏名の公表などの、もっと強い罰則規定を設けるべきではないでしょうか？
条例が改正されたことで、少しは県民の意識も高くなっているのではないかと思います。ただし、これまでしなければならなかった飲酒運転に関しての意識の低さは、情けなさを感じます。今後はさらに深夜のパトロールや情報提供等をアピールして頂きたいと思います。
今でも実施されてますが飲食店での飲酒の時の運転の有無の確認や販売店での年齢確認は引き続き必要かと思っています。それに対しては販売員さんへの負担も強いかもしれませんが必要な事かと考えます。

飲酒運転をする人の気持ちがわかりません。罰則をこれまで以上に厳しくするべきではないでしょうか。
深夜帯における電車やバスなどの公共交通機関の営業時間拡張や、交通インフラをさらに充実させることなども飲酒運転の撲滅に繋がるものと考えられるので、推進してほしい。
もともと飲酒運転はダメですが、海の中道の事件や厳罰化のため、世の中的に飲酒運転に対しての意識が高まったと思います。ただ、近年は飲酒運転が増えている印象を受けますし、継続的な啓発が必要かと思います。すでに実施されているとは思いますが、免許取得や更新のときに、海の中道事件を風化させない取り組みが福岡では特に必要かと思います。
福岡では全国ニュースになる大きな事件があり、移住前から知っていました。それでもなくなるのは異常なことだと思います。絶対にあってはならないことですので、県の施策をしっかり認識していきたいと思いました。
飲酒運転を見かけたときの110番通報の義務について、飲酒機会が増える時期になるので具体的な通報根拠になる事例等を、頻繁に告知してより多くの撲滅活動に生かせてほしい。
飲酒運転による事故は後を絶たないが広報活動を通してその危険性を多くの人に認知してほしいと思いました。
飲酒運転は良くないことですが、飲酒した後に運転をせざるを得ない状況を減らすことも大切だと思います。公共交通機関の充実や運転代行を安くしたり利用しやすくしたりも必要かと思います。また、飲酒運転をし捕まった人達のその後等リアルな話を知る機会も必要かと思いました。
飲酒運転をしたものに対する罰金を多額に科すと思う。幼いころから、飲酒運転は悪いことだという認識を刷り込ませるために、保育園・幼稚園・小学校での授業を頻繁に行うと思う。
通報の義務については知らなかった、条例で義務化しているものなどもっとアピールが必要と思われる。また、自転車だけでなく電動キックボードに関するものも周知が必要だと思います。
勤め先等で飲酒運転をしないよう常日頃示唆すること、学校教育の中で子供のころから指導すること等。
免許取得前から飲酒運転は絶対いけないと教えるべきだと思います。子供の頃から刷り込んでいけば効果が高いと思います。
飲酒運転による過去の死亡事故が毎年のようにメディアでとりあげられ、撲滅を呼びかけているのになかなか減らないのが残念です。罰則をより厳しくしていく方法しかないと思います。
悪い事だとわかっているのに繰り返される飲酒運転。どうしたら無くなるのか考えますが専門家が考えても無くなるのに私達一般人にはかなり難しい。被害者家族が講演しても飲酒運転経験者が聞かない事にはどうしようもないと思います。刑罰のひとつとして被害者家族の講演や対話を聞かないと免許再発行が出来ないなどがあっても良いと考えます。
同じ話を何度もすること 実際に死亡していることを何度も伝えていくこと 福岡県の本気を伝え続ける事
福岡県内、特に市内は飲食店や居酒屋、屋台も多く点在し、お酒を飲む機会が多くなります。飲んだら乗るなどの意識を持ち、お酒を楽しんだ帰りは、代行運転や公共交通機関の利用を徹底させなければと思います。代行運転、タクシーの割引制度があれば活用しやすくなるかなと思います。
連日のように飲酒運転逮捕者のニュースが流れている。海の中道での悲惨な飲酒運転事故報道はよく覚えています。テレビでニュースを名前を流すだけでなく飲酒運転逮捕者のその後の生活の変化、苦しみなどの報道をしてほしいと思います。
10年ほど前に運転免許を取得しました。その時に飲酒運転についての講義がありました。大学生から再取得の人まで同じ内容の講義を同じ教室で受けましたが、年代の差でこんなにも受け取り方が違うのかと愕然としました。飲酒運転が原因で再取得をする人はもっと条件を厳しくした方がいいのでは？
飲酒運転の撲滅には、個々の自覚が大切です。学校や職場などで飲酒運転の撲滅のための講演をもっと増やしていくべきと思う。